

経営相談 Q & A

インターネットを活用した外部発注の仕組み「クラウドソーシング」

Q

こだわりの生活雑貨等を販売する小さなセレクトショップの開設を予定しており、ショップの世界観やイメージを表現するために、オリジナルのロゴデザインの作成を考えています。できれば複数の提案を受けて価格や品質を検討したいのですが、依頼方法がわかりません。何か簡単なデザイン発注方法はないでしょうか？

A

1. 急成長が見込まれる「クラウドソーシング」市場

インターネットを介して不特定多数の個人又は企業にアクセスして、必要な人材を調達（業務の外部発注）する仕組みである「クラウドソーシング」の活用を検討することをお勧めします。

必要な人材を調達するといっても、実際に従業員を雇用するわけではなく、人材を「クラウドソーシングサイト」（クラウドソーシングサービスを利用できるサイト）上で見つけて、仕事の発注を行うというものです。ホームページの作成、ショッピングサイトへの商品登録等、発注可能な仕事内容は実に幅広い分野に及び、もちろんロゴデザインの作成依頼も可能です（図表1）。

図表1 クラウドソーシングサイトに掲載されている仕事例

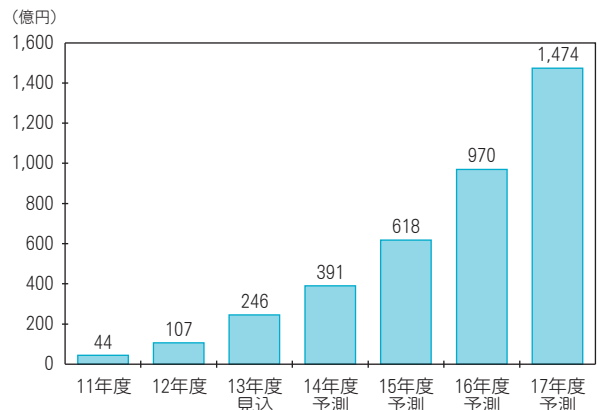
仕事内容	仕事内容の一例
1. ウェブ開発関連	ウェブ開発、スマホアプリ開発、ソフトウェア開発、EC サイト制作等
2. ウェブデザイン関連	ホームページ制作、バナー制作、ウェブデザイン等
3. サーバー・システム開発関連	サーバー構築、基幹システム開発等
4. デザイン関連	ロゴ作成、キャラクター作成、イラスト作成、名刺作成、チラシ作成等
5. ライティング関連	記事作成、ブログ記事作成、キャッチコピー、ネーミング等
6. 画像・動画加工関連	画像加工、写真加工、動画作成等
7. 作業関連	データ入力、テキスト入力、データ収集、テープおこし等
8. 上記にないその他の仕事	上記にないその他の仕事

（資料）中小企業庁「2014年版中小企業白書」

「2014年版中小企業白書」によると、2013年度の国内のクラウドソーシング市場規模見込みは246億円ですが、4年後の2017年度には、約6倍

の1,474億円にまで急成長すると見込まれています（図表2）。

図表2 国内クラウドソーシング市場規模推移と予測



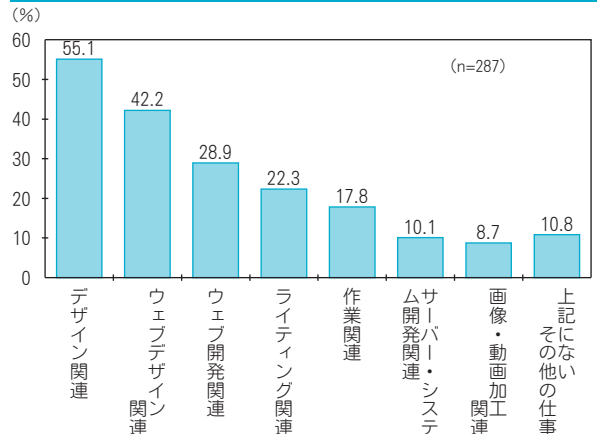
（注）クラウドソーシングサイト上での業務委託企業による仕事依頼金額（成約に至らなかった仕事の依頼金額も含む）の総額から算出。

（資料）中小企業庁「2014年版中小企業白書」

2. クラウドソーシング利用の現状

クラウドソーシングサイトにおいて、発注経験者が発注した仕事の内容を見たものが図表3です。

図表3 クラウドソーシングサイトで発注する仕事の内容（複数回答）



（注）クラウドソーシングサイトで、「仕事を発注したことがある」、「仕事を受注も発注もしたことがある」と回答した利用者を集計。

（資料）中小企業庁「2014年版中小企業白書」

これによると、「デザイン関連」、「ウェブデザイン関連」、「ウェブ開発関連」等一定のスキルが必要と考えられる仕事を発注したことがある企業が多いことが分かります。理由としては、企業規模があまり大きくない企業では、デザインや開発といった一定のスキルを必要とする人材を社内で確保するのが難しいことなどが考えられます。

また、「ライティング関連」や「作業関連」といった、比較的難易度の低い仕事も発注されていますが、これらについては、自社に人材がいても、外部へ仕事を発注した方が費用対効果が大きいと判断して発注していると考えられます。

3. クラウドソーシングの具体的な利用法

クラウドソーシングを利用して仕事を発注する場合、一般的には、①サイト会員登録⇒②発注（内容・報酬額等の掲載）⇒③ワーカー選定⇒④成果物検収⇒⑤報酬支払⇒⑥ワーカー評価というプロセスを経ます。

まず発注側は、多数のクラウドソーシングサイトの中から、発注を検討している仕事をこなしてくれるワーカー（専門業者以外の一般個人も含まれる）が存在すると思われるクラウドソーシングサイトに会員登録（無料のことが多い）を行い、上記の流れでワーカーを選定します。

日本国内のクラウドソーシング市場の拡大とともに、クラウドソーシングサービスを提供するサイト運営者も増加しています（図表4）。

図表4 主なクラウドソーシングサイト

サービス名	運営会社	特徴
ランサーズ	ランサーズ(株)	2008年創業の日本最大級の総合型クラウドソーシングサイト。累計依頼件数46万件以上、登録者数41万人以上。
クラウドワークス	㈱クラウドワークス	2012年創業ながら急成長し、ランサーズとともに市場の中心的存在。大手企業から官公庁までロゴデザインコンペ実績1万件以上。
CROWD(クラウド)	㈱リアルワールド	記事作成・ライティング、写真撮影、データ入力などのマイクロタスク型に特化したクラウドソーシングサイト。

(資料) 各種サイトより当研究所にて作成

4. クラウドソーシングの類型

図表5 クラウドソーシングの類型

類型	プロジェクト型	コンペティション型	マイクロタスク型
仕事の対象	制作期間や成果物が決まっているプロジェクト単位で行われる仕事	ある決まった成果物を提出する仕事	非常に簡単な作業による成果物を提出する仕事
仕事の例	ウェブ開発、ホームページ制作	ロゴ作成、チラシ作成	簡単なデータ入力作業、データ収集等
1件当たり報酬	数千円～数百万円超	数千円～数十万円超	数円～数百円

(資料) 中小企業庁「2014年版中小企業白書」

クラウドソーシングサイトでは、システムの開発など一定のスキルを必要とする仕事から、データを決められたフォーマットに入力していく単純作業まで、実に幅広い仕事が発注されています。これらの仕事は、受注者の決定方法や仕事の進め方により、一般に、「プロジェクト型」、「コンペティション型」、「マイクロタスク型」の三つに分類することができます（図表5）。

5. まとめ

ロゴデザイン作成は図表5の「コンペティション型」に該当し、デザインの条件や仕様をできるだけ詳しくクラウドソーシングサイトに登録することで、コンペ方式の複数提案の中から、希望と予算に合致するワーカーに発注することが可能です。

「2014年版中小企業白書」では、クラウドソーシングを活用してロゴやラベルを作成した『望月農園』（山梨市、従業員6名）の事例が紹介されています。43名から計119件のロゴの提案を受け、発注側の意図を汲んでコミュニケーションをとってくれるデザイナーと契約が成立し、満足のいく成果物が得られたとのことでした。

仕事の外部発注を個社ごとに依頼するのに比べ、クラウドソーシングでは、低コスト・短納期で、しかも高品質の成果物を得られる可能性があります。一方で、仕事の品質管理や受注者との意思疎通面の課題を挙げる声も一部利用者から聞かれるため、本稿で述べた特徴を十分に踏まえたうえで活用を検討してみてください。（吉村謙一）